

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	2025年 7月 30日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	氏名（法人にあっては、名称及び代表者名）
京都府宇治市槇島町二十四16番地	株式会社微生物化学研究所 代表取締役社長 大西 徹 電話番号：0774-22-4518

環境マネジメントシステムの名称	京都微研環境マネジメントシステム
適用範囲	株式会社微生物化学研究所 本社、第二研究所、物流センター
導入年月日	2013年 5月 1日
認証番号	
基本方針	株式会社微生物化学研究所は、動物用医薬品の製造、販売に係る全ての活動、製品及びサービスの環境影響を低減する為に環境関連の法規の遵守、環境汚染の予防の推進及び環境マネジメント活動の継続的改善を図る。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	(1) 自動車燃料の年間使用量 昨年比1%減 (2) 焼却ゴミ排出量昨年度対比1%減 (3) エコキャップ運動の実施
目標を達成するための取組の内容	(1) 自動車燃料の年間使用量 昨年度対比1%削減・・・ 近距離外出時の社用車使用の削減。 (2) 焼却ゴミ排出量1%削減・・・社内廃棄物の現状把握、 廃棄物分別状況の確認 (3) エコキャップ運動の実施・・・ペットボトルキャップを回収業者に 届け、寄付金とすることで発展途上国へのワクチン接種へ貢献。
目標を達成するための取組の進捗状況	(1) 自動車燃料の年間使用量 昨年度対比1%削減・・・ 社用車更新でハイブリッド車の導入などは特になし。 (2) 焼却ゴミ排出量1%削減・・・社内業務の一部をシステム運用 またはデータ化することで、紙(焼却ゴミ)の使用量を低減した。 (3) エコキャップ運動の実施・・・自販機前に専用ボックスを 設置しておりペットボトルキャップ約7,600個を回収できた。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	(1) 自動車燃料の年間使用量 昨年度対比1%削減・・・ 年間使用量が昨年比0.96%減少した。社用車更新で ハイブリッド車の導入などは特になし。 (2) 焼却ゴミ排出量1%削減・・・焼却ゴミ排出量前年比 4.37%減少できた。 (3) エコキャップ運動の実施・・・ 回収量が-42.4%減と大幅に減少した。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況については、年1回確認を行っている。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	自動車燃料の昨年度対比1%減については、0.96%減であった。当社内の 他事業所間の往来では徒歩や自転車の方も多いため要因としてあったの ではと思われる。焼却ゴミ排出量昨年度対比1%削減については、前年比 4.37%減少し達成できた。今年もガレージセールなど何度もあったので効 果が出ているのではないかと思う。エコキャップ運動は、回収回数は5回 から6回に増えたが個数としては大幅に減った。マイボトル持参の社員も 増えているのではないかと思われる。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。